

令和8年1月 東御市教育委員会 定例会会議録

1 日 時

令和8年（2026年）1月21日（水）午前9時から午前10時15分まで

2 場 所

中央公民館 学習室5

3 議 題

（1）協議（審議・検討）

議案第1号 令和8年度入学予定者に係る入学準備費の認定について
議案第2号 東御市まちづくり審議会委員の推薦について

（2）重点取組み

ア 不登校対応について
イ 部活動の地域移行について
ウ 児童の体力向上について

（3）報告

ア 教育課
(ア) いじめの状況等について
(イ) 就学援助費の支給認定について
(ウ) 令和7年度卒業・令和8年度入学の児童生徒数について

イ 保育課

(ア) 令和8年度保育園入園調整の状況について

ウ 地域づくり支援課

(ア) 冬季スポーツ大会について
(イ) 令和7年度家庭教育学級講演会について

4 出席者

○教育長

山 口 千 春

○教育委員

教育長職務代理者 小 林 経 明

委 員 直 井 良 一

委 員 五十嵐 英 美

委 員 小 林 利 佳

委 員 富 岡 志津子

○その他

滝澤教育次長、土屋教育課長、春原保育課長、柳橋地域づくり支援課長、

小林学校教育係長、小宮山学校施設係長、池田学校人権同和教育係長、

大塚保育係長、

塚田指導主事、宮下指導主事、岡澤指導主事、田中指導主事、

塚田学校教育係主任

会議録

滝澤教育次長

ただいまから、1月度定例教育委員会を始めます。それでは、教育長から開会宣言をお願いします。

山口教育長

それでは、1月度定例教育委員会を始めます。

滝澤教育次長

続きまして、教育長あいさつをお願いします。

山口教育長

本日はお集まりいただきありがとうございます。令和8年もよろしくお願ひします。

先月11日に第2回北御牧小中授業研修会が開催されました。6年生の社会科の授業参観があり、授業後に3つのグループに分かれて意見交換をしました。公開授業では、授業のねらいを「江戸幕府が行ってきたことと政治の安定とのかかわりについて学んできた子どもたちが、これまで学んできた江戸時代の政策やできごとを振り返り、江戸時代が260年続いた一番の理由を考えることを通して、自分の考えを持ち、根拠を示して表現する力を育てる。」として、「これまで学んできたことの中で、江戸幕府が260年以上続いた一番の理由は何だと思いますか。」という問題に取り組みました。大人でもなかなか答えを出せないような難しい問題です。

子どもたちは、先生がまとめた前時間までのポイントやキーワードが書かれたプリント、教科書・ノートを見ながら、4～5人のグループに分かれて話し合いをし、「()だと思う。どうしてか」というと「()だから。」という形でまとめます。授業では当初の話し合いの時間を延長して取り組みました。まとめ用の用紙に班の意見をまとめ、班ごと発表して黒板に貼ります。その後、「班ではこうまとめたけど、個人的には違う意見のある人」と発言を促すと、2名の子どもが意見を発表しました。班と個人的な意見を聞いた後、「では、自分の考えをノートに書いてみましょう」という先生の指示で、発表された内容も参考に、さらに教科書やノートを読み返したりしながら、1人1人まとめました。早く書けた人はノートをもって先生のところで発表です。時間があと3分というところで、席を離れてノートをもって、1対1で意見を言い合う「意見交流」の時間があり、先生が簡単にまとめ、「みんな一生懸命考えてまとめることができました。」と授業を終えました。

その後の懇談会では、「グループで話し合い、発表を聞いて、一人一人が自分の考えをまとめたことが良かった。」、「最後に、友達同士で意見交換をしたことが良い」、「社会科の見方・考え方をねらいにも入れて、評価していくことも出来る」等の意見が出されました。

私が参加したグループに中学校の社会科の先生がいて、偶然、翌日中学2年生が同じ単元でほぼ同じ内容を学習することが分かりました。そして、どのような授業をするのかと小学校の先生が聞くと、中学生らしい授業展開を披露していただきました。まさに実践的な「小中連携」の大切な場となり、大いに盛り上りました。

今年度、私は定例教育委員会・校長会・教頭会で「緩やかな幼保小中連携を」と話をしました。この研修会の全体会では、北御牧小学校長から「来年度、北御牧地区ではできるところからこの連携を推進していく」との説明がありました。具体的には、保小中引き渡し訓練、中学校教員までを含めた保育園での職員研修、保小中合同研修というものです。現場からこのような提案があり、大変嬉しく感じました。

1月13日に、「今年度実施のパラスポーツ体験授業の実践の場として、パラスポーツを通じて、クラスの仲間や普段交流のない他校の児童と交流を図り、共生社会の実現に向けて、より学びを深める機会とする」を目的に、「パラ小学祭 in とうみ」が東御中央公園第1・第2体育館で行われました。いくつかのメディアが取材に来ました。市内5小学校から約200人の5年生が参加し、車いすポートボール・ボッチャ・車いすリレーをクラス対抗で行いました。今年度は、和小学校の5年竹組が中心となって、パラスポーツ授業講師の上原大祐さんと事前打ち合わせを行い、当日を迎ました。それぞれの競技で応援の声が上がり、会場に一体感ができ、とても盛り上がりのある活動となりました。開閉会式の進行も和小学校の児童が行い、パラスポーツを通して他校の仲間と交流ができました。この企画を持続可能にするためには、本年度中に日程を決め、学校の年間行事予定表に組み入れて、準備していくことが大切だと改めて感じました。

（1）協議（審議・検討）

山口教育長

議案第1号 令和8年度入学予定者に係る入学準備費の認定について、この内容は、個人情報を含むため秘密会としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

山口教育長

それでは秘密会とします。

続きまして、議案第2号 東御市まちづくり審議会委員の推薦について、説明を求めます。

小林学校教育係長

東御市まちづくり審議会委員の推薦依頼が来ています。委員には、市長の諮問に応じ、

まちづくりの推進に関すること、総合計画に関すること、その他市長が必要と認めることについて、調査し、審議を行ってもらいます。任期は令和8年4月1日から令和10年3月31日までとなっています。現在は小林利佳委員に務めていただいています。

山口教育長

この内容について、いかがでしょうか。

小林職務代理

引き続き小林利佳委員に務めていただくのが良いと思います。

山口教育長

他、いかがでしょうか。

全委員

異議なし。

山口教育長

それでは、小林利佳委員を推薦するということでお願いします。

続きまして、（2）重点取組みに移ります。ア 不登校対応について、説明を求めます。

塙田指導主事

ア 不登校対応について、説明します。（個人が特定される情報は非公開）

各校から報告があった児童生徒は、小学校42人・中学校97人です。30日以上の長期欠席の中で、理由が「不登校」の児童生徒数は、小学校22人、中学校47人で前月比が5名程度となっています。12月の報告の中での特徴的なことは、懇談会や支援会議に児童生徒本人が参加するため、登校することができた場面が多く、結果的にその月全欠の児童生徒の数が少なかったことが挙げられます。今までなかなか登校できなかった児童生徒に対して、学校が保護者の協力も得て登校につなげることができました。

不登校児童の在籍比率でみると、小学校・中学校とも昨年並みであるといえます。一方で「報告すべき児童生徒」を把握しきれていない場合や、「長期欠席」の理由については「不登校」のほか「病気」や「その他」がありますが、その基準があいまいな場合もあることも事実です。校長会・教頭会で「不登校児童生徒報告」の報告の仕方について徹底を図ることによって、結果的に教職員の支援意識の向上につなげたいと思っています。

なお、12月中旬に各校を訪問し「令和8年度の集団不適応・不登校対応体制構築」の構想をお聞きしてきました。各校の取組や方向性の良さを、東御市全体で共有していきたいと思います。そして、東御市全体の「集団不適応」「不登校」対応の指針を明確にしていき

たいと思います。

山口教育長

先月と比べると、特に中学校の不登校生徒数の増加があまり見られていません。

直井委員

冬休み明けの子どもたちの様子はどうでしょうか。

塚田指導主事

休み明けは登校出来ている児童生徒とそうでない児童生徒がいるようです。1月中旬ごろから登校渋りのある児童生徒もいて、この時期は不登校になりやすい時期でもありますので、今後も引き続き注視していきます。

山口教育長

続きまして、イ 部活動の地域移行について、説明を求めます。

塚田指導主事

先行モデルケースとして実施しているサッカーチーム、ソフトテニス部、卓球部については、先月と同様の状況です。

今後は、1月30日に東信教育事務所で行われる部活動地域展開担当者情報交換会に参加予定ですので、他の自治体の取組状況について学びたいと考えています。

山口教育長

続きまして、ウ 児童の体力向上について、説明を求めます。

宮下指導主事

信濃教育会主催の第29回教育研究論文・教育実践賞に、和小学校養護教諭が応募しました。資料は応募論文です。

令和6年度から日本体育大学教授が身体教育医学研究所と連携して遊び場調査を実施していますが、その結果によると和小学校では外遊びが少ないということから教員も課題意識を持っていました。この結果を受けて、令和7年度は外遊びに力を入れるということを学校全体で取り組もうということになり、養護教諭を中心に取り組みました。その内容は資料のとおりです。児童会の保健委員会の取り組みによって児童を、学校保健委員会で取り上げて保護者をも巻き込みながら取り組んできました。朝の時間を朝遊びの時間にしたり、教員も外に出て一緒に遊んだり等、実際に外に出て遊ぶ子どもたちの数の増加だけでなくみんなの意識改革にもなりました。外遊びへの抵抗が薄れてきたようにも感じられま

す。一方で、これが体力テストの結果に結びつくかどうかは来年度以降の結果に反映されるため現時点ではわかりませんが、子どもたちの行動や心情の変化があったことは明確です。

山口教育長

子どもや教員だけでなく、PTAという保護者も巻き込んで行っていることがとても評価できると思います。和小学校では特別支援学級の子どもたちが1時間目に体育をやっている様子があります。

宮下指導主事

こうした取り組みで体を動かすことによって、子どもたちの生活の様子に改善がみられる子が多くいたようです。

山口教育長

こうした取り組みを養護部会で発表して共有することも良いと思います。

塚田指導主事

先日と身体教育医学研究所との打ち合わせの中で、体力に関わる取り組みについては、養護教諭と連携して取り組みを行っていくという方針がありました。引き続き対応していきます。

富岡委員

親が車で送迎する子どもが多くなっていることは事実です。学校でこのような雰囲気づくりをすることはとても良い取り組みであると思います。

山口教育長

続きまして、(3) 報告に移ります。ア 教育課から報告をお願いします。

岡澤指導主事

(ア)いじめの状況等について、報告します。(個人が特定される情報は非公開)

今回のいじめの報告件数は新規2件、継続2件となりました。いじめ報告があった内容については子どもの様子を引き続き見ていく必要があります。

テレビの報道でもありますが、SNSが使われて拡散されているいじめが複数あります。撮影しているということはそれを見ている人がいるということです。そういういじめについては今後も対応を考えいかなければならぬことです。

五十嵐委員

休み時間にドッジボールをしている子の中で、弱い子どもをわざと当てて、仲間から外すという様子がみられ、その担任の先生に子どもから報告をしたということがありました。毎日でなくとも先生が外に出て子どもたちの様子を見るだけでも、ちょっとしたもめごとを身近に見ることが出来るので、そういう対応をしてもらえばと思います。

岡澤指導主事

教室にいない子どもに対して、担任がどういう意識で見るかによって子どもたちの様子、クラスの様子が異なってくると思います。

いじめられた子どもと同じくらいじめた子どもをどう見ていくのかということも重要であると感じています。また、いじめが起こる前の様子もしっかり見ていくことが重要であると思います。

山口教育長

教員の中でも自責感情が強い人がいます。一人で悩みこんでしまう場合もあるため、その教員にはチームでの対応が大事であることを再度伝えていきたいと思っています。一方で、その大前提として教室に入ってきたときに空席の児童生徒をどれだけ思っているのかが、他のクラスの児童生徒にも影響を与えるのかを考えてほしいと思っています。

塙田学校教育係主任

(イ)就学援助費の支給認定について、報告します。(個人が特定される情報は非公開)

小林学校教育係長

(ウ)令和7年度卒業・令和8年度入学の児童生徒数について、報告します。

令和7年度卒業児童数は234名、卒業生徒数は253名です。令和8年度入学児童数は219名、入学生徒数は235名です。なお、卒業式、入学式の告示の人数については、当日学校で確認いただきますようお願いします。

山口教育長

続きまして、ウ 保育課の報告をお願いします。

春原保育課長

(ア)令和8年度保育園入園調整の状況について、報告します。

3歳未満児の入園受付を11月から行ってきましたが、入園申し込み状況は資料のとおりです。入園調整が必要な園は、田中保育園、北御牧保育園で計6名でした。この方については、第2希望の園への入園を案内する等対応を行いました。

山口教育長

昨年と比べて調整する数はどうでしょうか。

春原保育課長

昨年保護者の方に調整を依頼した件数は22件でしたので、昨年よりは少なくなっています。保育園が保護者の通勤経路上にあり、送迎しやすいといった要因が関係することによって希望が偏る傾向があります。

山口教育長

これから希望者が増えることはあるのでしょうか。

春原保育課長

増える可能性はあります。今回の数字は7月までの入園受付ですので、8月以降の入園については、今後対応していきます。

山口教育長

続きまして、エ 地域づくり支援課の報告をお願いします。

柳橋地域づくり支援課長

(ア) 冬季スポーツ大会について、報告します。

3月8日に北御牧地区で冬季スポーツ大会が開催されます。主催は北御牧公民館、冬季スポーツ大会実行委員会です。競技はボッチャ、卓球、ストラックアウト、ゲートボールの4種目です。委員の皆さんもぜひご観覧ください。

(イ) 令和7年度家庭教育学級講演会について、報告します。

2月28日に中央公民館講堂で家庭教育学級講演会を開催します。講師に信州大学教育学部上村恵津子教授をお迎えして、「子どもとのコミュニケーションを考える」と題し、講演いただきます。公認心理師等の資格を持っており、子どもとの関わりをコミュニケーションやカウンセリングの視点からご説明していただきます。家庭における問題や課題について学び、共に考える機会にしたいと考えています。別途通知をお渡ししますので是非お越しください。なお、この講演会は信州大学出前講座を活用しています。

山口教育長

議題は以上となりますが、他に何かありますでしょうか。

直井委員

東部地区小学校給食センター建設の状況と来年度の給食費について、どのような状況になっていますでしょうか。

小宮山学校施設係長

はじめに東部地区小学校給食センターについてです。9月議会に給食センターの土地に関する造成費用等を計上し、承認となっています。その後、造成と田中小学校の出入口付近の仮設通路の工事を行っています。先行して歩道部分の設置と道路拡幅工事を行っていますが、現時点では拡幅工事は終了しています。造成は来週頃から本格的に実施される予定となっています。今後の状況については、国の補正予算成立に伴い、令和8年度で国の予算要望をしていたセンター本体の工事を令和7年度に前倒し要望をしています。1月末に事業内示が出ますと、市では3月補正予算で予算計上し、承認されれば3月中に発注業務を行います。工事着手は6月頃を見込んでいます。既にお示ししているスケジュールに沿って進んでいる状況です。

続いて、来年度の給食費についてです。11月の総合教育会議等で国の状況をご説明しましたが、今週に国の説明があり、国は月額5,200円で11ヶ月分の児童数を補助するということです。1食あたりおよそ286円ということになります。現在小学校高学年の1食あたりの給食費は356円のため差額70円が生じます。この金額を保護者に全額負担していただくのか、一部市で負担するのかについては、現時点では保護者の方に負担していただきたいという方向で検討を進めています。いずれにしても2月中には保護者に説明が必要になりますので、早急に方向性を決定していきます。

土屋教育課長

小学校高学年の場合、1食あたり70円で年間14,000円程度となります。小学生1,350人で年間およそ1,500万円を保護者負担とするのか、自治体の負担とするのかは今後早急な検討課題となります。国の説明の中で「給食費無償化」という言葉が使われていましたが、「給食費の抜本的な負担軽減」という言葉に切り替えられ、保護者負担についても認めているという状況です。いずれにしても予算措置が必要となりますので、3月議会での予算計上を予定しています。

小林職務代理

全額無償化となると、地産地消等の特色を活かした給食の提供は難しくなるかと思います。お金の話だけでなく、それでよいのかという議論も必要です。

滝澤教育次長

給食の質についても給食費と関わっていますので、そういった課題を総合的に検討して、周辺市の状況を踏まえながら今後方針を決定していきます。教育委員の皆様からのご意見

もよろしくお願ひします。

山口教育長

それでは、1月度定例教育委員会を閉会します。